

消せない「デジタルタトゥー」の怖さ

インターネット上で一度拡散された情報は、後から削除するのが難しくなります。そうした特徴から入れ墨（タトゥー）に例えて、「デジタルタトゥー」と呼ばれています。

投稿が「デジタルタトゥー」になる流れ

「デジタルタトゥー」の種類はさまざまですが、中でも特に多いのが、以下のような投稿です。

- ◆ 飲食店で料理や、客が共用する調味料などにいたずらをしているもの
- ◆ 電車の線路内に侵入するなど、公共の場で迷惑行為や危険行為をしているもの
- ◆ 裸や下着姿で撮影するなど、性的な要素を含むもの
- ◆ 他人への攻撃や悪口を含むもの
- ◆ 法に触れる行為などが想像できるもの
- ◆ 注目を集めたいといった理由で周りの人に迷惑がかかるような行為をしているもの

これらの行為は、インターネット上に投稿する以前に、興味本位やおもしろ半分であったとしても「決して行ってはならないもの」です。



このような投稿に対しては、批判的なコメントが殺到し、投稿者の個人特定がはじまります。インターネット上には、不適切な投稿をした人をこらしめてやろうという目的や、おもしろ半分に、さまざまな手段を使って投稿者の個人情報を特定しようとする人物がいるのです。



まとめサイト

〇〇店迷惑行為動画の犯人を特定！

名前：××A男
学校：××学校2年
居住地：××県××市
××町



この写真の場所、〇〇駅の近くだな



××学校の生徒か

名前や学校名、居住地域などの個人情報を特定されると、問題の投稿と一緒にインターネット上のさまざまなサイトにはりつけられます。

そのようにして拡散された情報は、閲覧した多くの人たちから保存されるので、あるサイトの情報を削除しても、また別のサイトに情報を載せられて、すべての情報を削除するのはほとんど不可能になります。

不適切な行為や不法行為をインターネット上に投稿し、それらがデジタルタトゥーになると、たとえ、その後十分に反省していたり、後悔をしていたりしても進学や就職など将来にまで悪影響が及びます。自分の投稿は友だちだけでなくいろいろな人から見られているということを意識して、誰に見られても困らないもの、二度と消せなくなっても大丈夫なもの以外は、インターネット上に投稿しないようにしましょう。

